

平成30年度一之宮町まちづくり協議会事業計画

◆平成30年度重点目標

一之宮町がかかえる多種多様な地域課題に向き合い、町民全員の力で取り組もう

平成30年度はこれまでの組織機構を大幅に改編して組織をスリム化し、事業運営の効率化を図りながら効果的な事業実施を目指します。

具体的には、理事会と総括会議を廃止し、その機能を本部会議に集約してスムーズな運営に努めます。それに伴い、これまで本部事業として企画開催してきた納涼夏祭りなど規模の大きい恒例の事業について本部事業から切り離して実行委員会方式で実施します。

いずれにしても、高齢化が進み事業全般が低迷傾向にある中、事業の在り方について再考しなければならなくなってきており、今年度策定する「まちづくり計画」をはじめ各事業を「自分たちのまちは自分たちでつくる」という意識を持ち、取り組んでいきます。

◆本部

本部役員体制が昨年度までの4人から6人となり、副会長2名の女性枠が新たに設けられたことから、女性の考えをこれまで以上にまち協運営に反映するよう努めます。

これまで策定を先送りしてきた懸案の「まちづくり計画」は、昨年度実施のガヤガヤ会議の結果等を踏まえ策定に取り組みます。

今年度はまち協設立5年目を迎えていくつかの記念事業を計画していますが、町民の方々にまち協について改めて認識していただけるようこの事業に取り組みます。

なお、昨年度をもって女性部が解散したことに伴い、それまで女性部が行っていた「貸衣装事業」を今年度は本部が引継ぎ運営を継続します。この事業については今後の継続も含めた事業運営について検討していきたいと考えています。

時期	事業名	内容	目的
4月～	まちづくり計画	昨年度実施のガヤガヤ会議の内容等参考に中期計画を策定する	中長期的視点に立った段階的・総合的な計画の策定で、暮らしやすく活気のある地域づくりを進める
4月～	まちづくり応援事業	町内の組織を対象に必要な資金を援助する	資金援助を通じた形で町内活性化を目指す
4月 22日	まち協5周年記念事業 「臥龍桜を語る」	一之宮を象徴する臥龍桜にスポットをあて、話を聞く	臥龍桜の存在意義を再確認し、自然・文化遺産の大切さを認識する
4月～	まち協5周年記念事業 記念品全戸配布	5周年を記念したライト付ボールペンを全戸に配る	記念品配布でまち協認知度を高める

時 期	事 業 名	内 容	目 的
5月	事業発進会	本部役員、町内会長、部役員等による事業確認交流会	年度事業開始にあたり関係者の意識統一・高揚を図り、事業の円滑な進行を目指す
8月21～ 23日	まち協5周年記念事業 女川バスツアー	まち協設立記念事業で訪問した宮城県女川町を、参加者を募集して再度訪問し義援金を渡す等交流を図る	設立時の事業の継続アピールと復興支援、まち協組織の認知度を高める
年 間	アクティブ プロジェクト	若年層を中心としたチームを編成し、自由な発想でまち協事業について話し合う	自由な発想をまち協事業運営に反映する
年 間	外灯料支払い	外灯電気料をまち協が支払う	まち協一括方式で従来の班経費・事務の軽減を図る
年 間	貸衣装事業	着物など衣装の貸付	相互扶助により衣装を廉価で貸付ける

◆実行委員会 ※実行委員の構成含め運営方法は年度当初に検討・決定する

これまで納涼夏祭りなどの大きな事業については本部事業として位置付けて実行委員会方式で運営してきました。今年度からは本部事業から外し、事業に賛同する人を中心に実行委員会を立ち上げ、より自由な発想から企画運営する方式によって実施します。

時 期	事 業 名	内 容	目 的
8月	納涼夏祭り	お盆の時期を利用して、町民の集いの場を開く	町民相互、家族の交流の場を提供し地域の活性化を図る
9月	一之宮町敬老会	75歳以上の高齢者を対象に宴席でもてなす	高齢者に敬意を表し健康長寿を祝う
11月	一之宮町文化祭	町内住民による芸能発表、作品展示、農産物販売等収穫祭を行う。運営企画に中学生を加える	町内文化活動の継続発展と秋の収穫に合わせた交流の場の提供で地域の活性化を図る

◆町内会長会議

市や関連機関、まち協などと町内住民との双方向の情報伝達に努め、パイプ役としての機能発揮に努めます。

時 期	事 業 名	内 容	目 的
4月、 8月	町内環境整備	ゴミ拾い、河川清掃、草刈り等の周辺清掃 町内未加入者にも呼びかけ	環境美化 未加入者交流

時 期	事 業 名	内 容	目 的
7月	町内会長・班長研修会	町内情勢についての情報交換と懇親会	情報交換と町内会長・班長相互の連携を図る
毎 月	町内会長会 町内会長・班長会	毎月定期的に会合を開き情報伝達を行う	市、まち協等からの情報の周知、地域の意見等の吸い上げを図る
9月	情報提供への協力	地域要望個所の調査と提示	環境整備を進め安全安心な地域を目指す

◆防災防犯部

昨年度組織化された自主防災組織が機能するよう体制の整備を進めるとともに、消防署等行政との窓口一本化の効果によって防災関連活動が順調に行われるよう努めます。

時 期	事 業 名	内 容	目 的
8月～ 9月	消火栓塗装	塗装が剥げかけた消火栓を塗装する	錆留め等による老朽化防止
9月	防災集会	町内の防災関係者を集めた集会。避難所開設手順と運営について等を確認し合う	災害時に備え対応
—	事業助成	一之宮地域安全パトロールに対して助成する	事業支援を通じた防犯活動

◆福祉部

福祉関係者が情報交換できる場の提供に努め、福祉に対する意識向上に努めるとともに、子どもや高齢者の居場所づくりという新たな事業を通じて世代間交流を図ります。

時 期	事 業 名	内 容	目 的
6月	園児との交流会	高齢者が宮保育園児とゲーム等で交流	園児との触れ合いによる生きがい活動
6月	福祉研修会・座談会	町内福祉関係者を集めた研修会。身近な問題を話し合う座談会も開催	高齢者福祉に関する意識を高める
6月～	みんなの食堂 さくら	地域の子ども、高齢者を集めた「食」等を通じた交流事業。毎月定期的に行う	高齢者や子どもの居場所づくりを通じてコミュニティの場を提供し、高齢者の生きがいと子どもの健全育成を目指す
11月	福祉講座	八光苑による認知症の講座	認知症に対する理解を深める
通 年	みや交流サロン	飛騨位山文化交流館ロビーに自販機を設置し休憩スペースを提供	高齢者を中心とした語らいの場の提供

◆青少年育成部

今年度は「体験の風」事業に力を入れ、地元子ども達が体験を通じて豊かな人間と郷土愛を深めることにつながるような取り組みに努めます。

「新成人を祝うつどい」を部事業に取り組み、関係者と協議をして新成人を祝います。

子ども見守り活動については、引き続きボランティア協力を呼びかけ、関係機関と連携して取り組んでいきます。

時 期	事 業 名	内 容	目 的
5月～	体験の風	子どもを対象に自然体験、農業体験、伝承文化体験等を行う	体験活動を通じて豊かな人間性を養うとともに郷土への愛着を深める
6月～ 3月	サタデイサークル	地域の子どもの対象に地元の講師が指導する。月1回の学習教室	学校では学べない内容を地元の講師から習うことで豊かな人間性を養う
1月2日	新成人を祝うつどい	新成人を招いて祝う	祝うとともに成人としての意識を持ってもらう
年 間	子ども見守り活動	地域ボランティアと保護者ボランティアによる、子どもの登下校を中心に見守り活動を行う	子どもが元気に、安全安心して暮らせる地域づくりを目指す。
年 間	地域子ども関係団体との連携強化	「一之宮町子ども会育成連絡協議会」のまち協への編入検討及び「宮っ子育む会」(現在活動休止中)の事業展開の促進	子どもの育成組織を一本化することにより、活動の活性化と運営の円滑化を図る。また、高山市で今後導入が予想される「地域学校協働活動」に対応できる地域づくりを目指す
—	頑張る若者応援宣言	青少年のスポーツ・文化活動の活躍に対し、懸垂幕等を通じ称える	青少年のスポーツ・文化活動を応援する
—	事業助成	宮小学校への岩瀬交流、子ども育成会、スポーツ少年団の各活動に対し助成する	それぞれの事業を支援する

◆体育部

恒例事業を継続するとともに、今年度は飛騨位山トレイルに連携したスポーツイベントを充実開催し、町民も気軽に参加できる事業の拡大に努めます。

時 期	事 業 名	内 容	目 的
6月～ 7月	班対抗ソフトボール大会	班対抗形式のソフトボール大会。ナイターで実施	スポーツを通じて班相互の交流と町民同士の親睦を図り中高年の体を鍛える

時 期	事 業 名	内 容	目 的
8月 26日	6地区対抗体育大会	野球、ソフトボール、バレーボール等8種目を6地区対抗戦で競技する	スポーツを通じて6地区相互の交流と親睦、異世代交流を図る
9月 23日	飛騨位山トレイル スポーツフェスティバル	飛騨位山トレイル選手を応援し、子どもから高齢者までが参加できるミニトレイルを実施する	飛騨位山トレイルを盛り上げるとともにミニトレイル参加を通じて自然と触れ合う
3月 10日	町民そり大会	プラスチック製のそりを使って競技を楽しむ。宝探しも行う	雪原でのスポーツを通じて交流を深める

◆産業振興部

まち協連携組織が主催する一之宮町内で開催される事業について財政面から支援し地域の活性化に努めます。

時 期	事 業 名	内 容	目 的
—	連携組織への事業助成	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨生きびな祭り ・一之宮桜を守る会 ・梅花藻を守る会 ・全日本ローラースキー大会 ・飛騨位山トレイル大会 ・モンデウススキー大会 ・宮笠愛好会 	イベント等の事業に助成し、町内の産業振興に寄与する

◆文化教養部

町内を回る「文化遺産巡り」が一巡したことから、今年度は市と連携して町外からの参加者も募る「体感ツアー」を企画します。

参加者が少ない教養講座を見直して、気軽に参加できて楽しい講座の開設に努めるほか、高齢化等による文化活動の低迷については引き続き対応策を探っていきたいと思えます。

時 期	事 業 名	内 容	目 的
5月～	一之宮町文化財調査	町内から調査員を募集し、文化財の保護・調査を実施する	郷土の文化財の保護と文化財学習を通じ文化祭の維持に努める
10月	地域の魅力体感ツアー	主に町外に対して一之宮町の文化を紹介するツアー（市事業との共催）	一之宮の魅力を地域外にPRし、交流人口の増加を図る
11月	文化研修旅行	一之宮町と文化が共有出来る地域を訪ねる。	町外の文化を学ぶことで郷土の文化を再確認し、今後の文化活動を推進する

時 期	事 業 名	内 容	目 的
年 間	教養文化講座	いくつかの文化講座を開催する	教養を深め豊かな生活につなげる
年 間	ふるさと写真館	写真を募集してみや交流サロンに展示する	郷土愛を深める
—	文化活動助成	公民館登録団体へ助成する	活動を支援する

◆広報部

これまで「一之宮まち協だより」として毎月1回発行してきた広報紙を名称も含めて一新し、より親しみ読みやすい紙面づくりに努めます。

時 期	事 業 名	内 容	目 的
各 月	まち協広報紙の発行	毎月1日配布の情報紙を発行。今年度から紙面を刷新し、全面カラーとして読みやすく親しみやすい紙面を作る	地域の情報を広く住民に伝え、情報を共有する
随 時	ホームページの発信	まち協の情報や地域の問題をリアルタイムで発信	スマホ等による情報授受